

早期消化器癌と血液凝固能に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間:2018年11月28日～2020年3月31日

〔研究課題〕 早期消化器癌における血液凝固能及び内視鏡治療後の変化

〔研究目的〕 腫瘍（できもの）ができると血液の凝固能が亢進し血栓症が起こりやすくなることが知られていますが、あまり進行していない早期の腫瘍についてはよくわかっていません。本研究の目的は、内視鏡的切除術の対象となった早期腫瘍の方の血液凝固能の異常の有無について調査し、また内視鏡治療後にも検査を行っている場合にはその変化を比較し、腫瘍の有無及び内視鏡治療に関する血栓症の危険性を明らかにすることです。

〔研究意義〕 本研究によって早期腫瘍に罹患している方の血栓症の危険性が高いかどうか、内視鏡治療によって影響があるかどうかを明らかにすることができます。

〔対象・研究方法〕 医療記録（カルテ）から、2010年4月から2018年10月までに、早期消化器腫瘍（食道、胃、十二指腸、大腸）に対して内視鏡的切除術を行った患者さんの中で、血液凝固能の検査を行っていた方を対象に、異常値の有無を調査します。

〔研究機関名〕 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室

〔個人情報の取り扱い〕個人が特定され得る記録については暗号化し、学内の規定（プライバシーポリシー）に従って、学内の施錠可能な場所に保管します。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者: 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 教授 山本貴嗣 ymmt@med.teikyo-u.ac.jp

研究分担者: 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室 講師 小田島慎也、講師 阿部浩一郎、
大学院生 中村直裕

住所: 東京都板橋区加賀 2-11-1 TEL: 03-3964-1211(代表) 〔内線 7030〕